

宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について（確定値）

（令和7年11月6日実施）

1 生息数及び構成比

種類	羽数：羽	構成比：％	備考
ガン類	209,834	88.5	過去 4 番目
ハクチョウ類	4,695	2.0	過去 11 番目
カモ類	22,657	9.6	過去 51 番目
計	237,186	100.0	過去 5 番目

※ 11月調査は昭和47年度から実施しており、今年度は54回目となる。

2 前年同期との比較

単位：羽

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計
令和7年11月6日	209,834	4,695	22,657	237,186
令和6年11月7日	173,182	6,884	30,480	210,546
増減	36,652	▲ 2,189	▲ 7,823	26,640

3 主な確認地

地点名

市町村

羽数

（1）ガン類

昨年の羽数

伊豆沼・内沼	（栗原市・登米市）	105,793 羽	112,824
蕪栗沼	（大崎市）	103,061 羽	59,727
迫川-ニツ屋橋付近	（登米市）	515 羽	300

（2）ハクチョウ類

伊豆沼・内沼	（栗原市・登米市）	1,104 羽	989
大沢川	（石巻市）	489 羽	111
迫川-ニツ谷橋付近	（登米市）	295 羽	320

（3）カモ類

大沼	（仙台市）	2,995 羽	3,726
佳景山	（石巻市）	1,621 羽	0
伊豆沼・内沼	（栗原市・登米市）	1,404 羽	1,428

4 調査箇所数

県内のガン、ハクチョウ、カモ等の飛来地492か所

5 調査人員

県職員、県自然保護員、蒲生を守る会及び日本雁を保護する会等

102 人

6 その他

本調査の内容については、宮城県自然保護課ホームページで確認できます。  
HPアドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/gankamo-top.html>

7 飛来状況

全体として順調な増加傾向が認められる。ガン類が増加した一方で、ハクチョウ類、カモ類は宮城県より北に留まっている群れが多いため、個体数が減少したと考えられる。今後、寒さが厳しくなるにつれて、ハクチョウ類、カモ類も増加すると考えられる。